

流域治水プロジェクト2.0

R6.3更新(2.0策定)

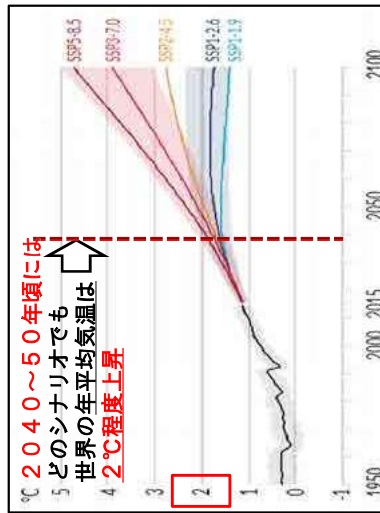
～気候変動下で水害と共生する社会をデザインする～

■現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算。
現行の治水対策が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーニンフラやカーボニンユートラルへの関心の高まりに伴い治水機能以外の多面的な機能も考慮する必要
- インフラDX等の技術の進展

■流域治水プロジェクト更新の方向性

- 気候変動を踏まえた治水計画に見直すとともに、流域対策の目標を定め、あらゆる関係者による流域対策の充実
- 対策の“量”、“質”、“手段”の強化により早期に防災・減災を実現
- **気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を『流域治水プロジェクト2.0』として、全国109水系で順次更新し、流域関係者で共有**

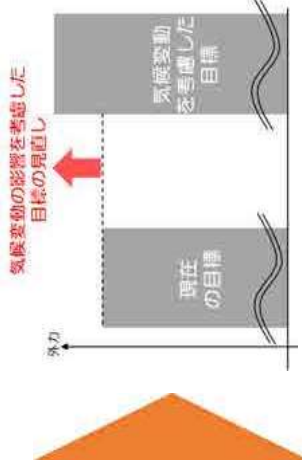


気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇相当	約1.1倍

↓
降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約1.2倍	約2倍

※流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は一級水系の河川整備の基本とする洪水規模（1/100～1/200）の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



河川整備計画等についても、**気候変動を踏まえ安全度を維持するための目標外力の引き上げが必要**

■流域治水2.0のフレームワーク ～気候変動下で水害と共生するための3つの強化～

“量”の強化

- ◆ 気候変動を踏まえた治水計画への見直し（2℃上昇下でも目標安全度維持）
- ◆ 流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進
- ◆ あらゆる治水対策の総動員

“質”の強化

- ◆ 溢れることも考慮した減災対策の推進
- ◆ 多面的機能を活用した治水対策の推進

“手段”の強化

- ◆ 既存ストックの徹底活用
- ◆ 民間資金等の活用
- ◆ インフラDX等の新技術の活用

資料8

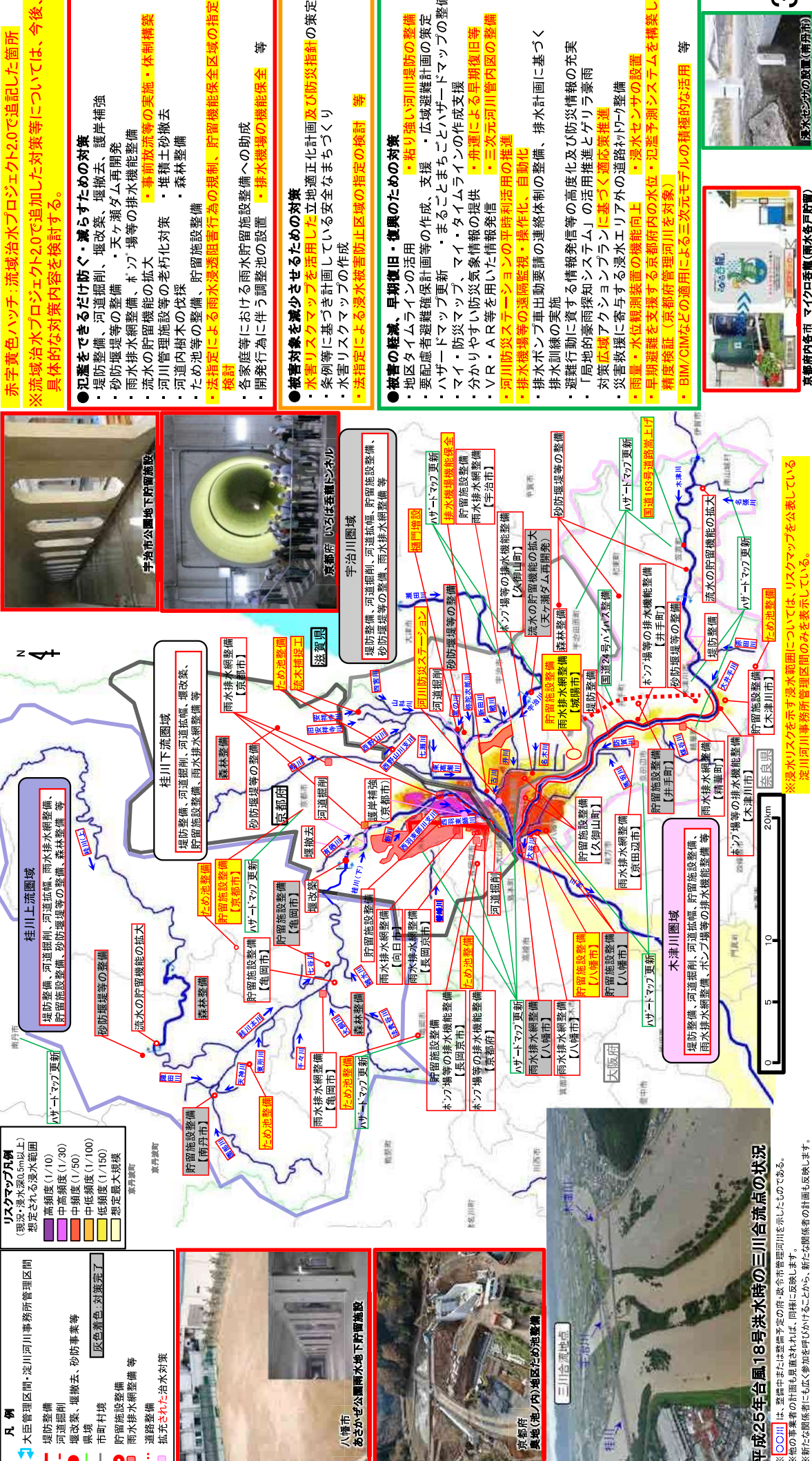
水害から命を守り、豊かな暮らしの実現に向けた流域治水国民運動

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

R6.3更新(2.0策定)

～みず・ひとと繋る古都を支える流域対策の推進～

○淀川水系の京都府域では、宇治川、桂川に於いて、平成21年に策定した旧河川整備計画の目標洪水を上回る平成25年台風18号を、木津川においては、気候変動の影響等を踏まえ、旧整備計画の目標洪水の降雨量1.1倍以上とした洪水にそれぞれ安全に流下させることを目指す。
○これまで、平成25年台風18号等による被害をふまえ、平成21年に策定した河川整備計画に位置づけたメニューを大幅に進捗してきたが、気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法(以下、「法」)の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。



淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(京都府域)分会【位置図】

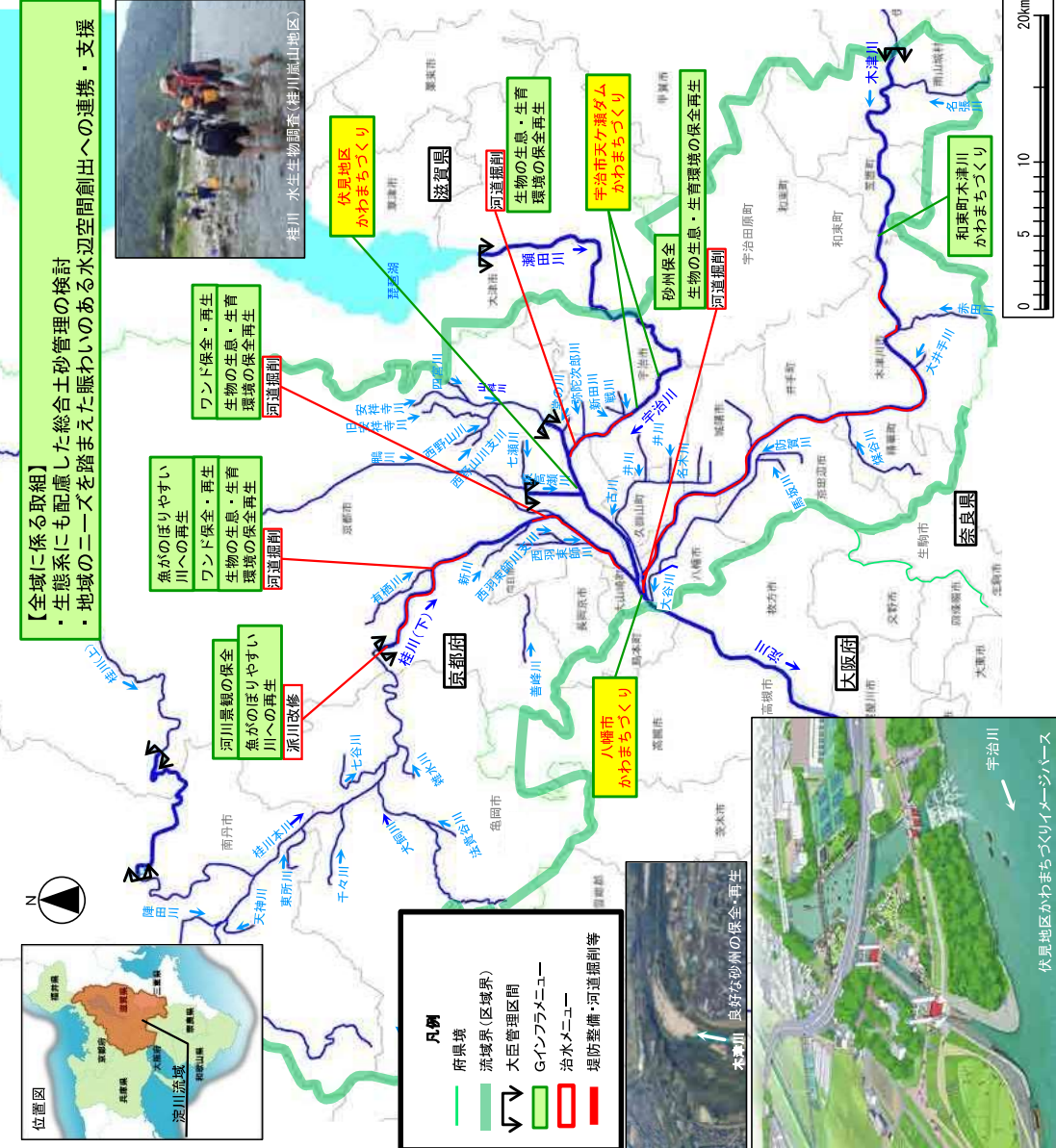
～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

R6.3更新(2.0策定)

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

○宇治川のヨシ原や礫床、木津川の砂州河原に点在するたまりや瀬と淵、桂川の流水域と湛水域が連続する環境やワンドなどの環境に応じて、オオヨシキリをはじめとする鳥類やナカセコカワニナ、タナゴ類やヨドゼザラなどの魚介類といった、次世代に引き継ぐべき多様な生態系が存在する。

○水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でヨドゼザラの模式産地であるワンドや魚がのぼりやすい川を整備するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



赤字黄色ハッチ:流域治水プロジェクト2.0で追記した箇所

※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策等については、今後、具体的な対策内容を検討する。

●治水対策における多自然川づくり

生物の生息・生育環境の保全再生、ワンド保全・再生、魚がのぼりやすい川への再生、砂州保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

和東町木津川かわまちづくり、河川景観の保全
八幡市かわまちづくり、伏見地区かわまちづくり、
宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
- ・河川レジャージャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
- ・小中学校における河川環境学習の実施
- ・住民団体と連携した水生生物調査の実施

木津川 和東町木津川かわまちづくり整備イメージ



桂川 河川景観の保全



桂川 魚がのぼりやすい川への再生



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(京都府域)分会 京都府事業【位置図】

～みず・ひとと繋る古都を支える流域対策の推進～

